

6月22日の大雨における巖木ダム洪水操作の効果について

◆6月22日の大雨により、ダムへの流入量は最大127m³/秒に達しました。【降り始めからの総雨量：270mm（ダム上流域の平均）】

◆巖木ダムの洪水操作（ダム下流河川の増水を緩和させる操作）

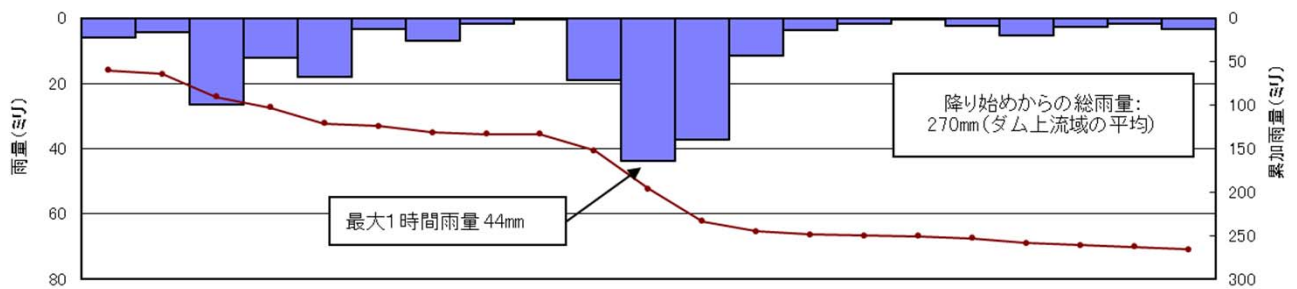
6月22日16時50分より巖木ダムへ流れてくる水量の一部を巖木ダムへ貯めて、ダム下流の河川へ流す水量を最大で6割低減させる操作を実施しました。

◆巖木ダムの洪水調節効果

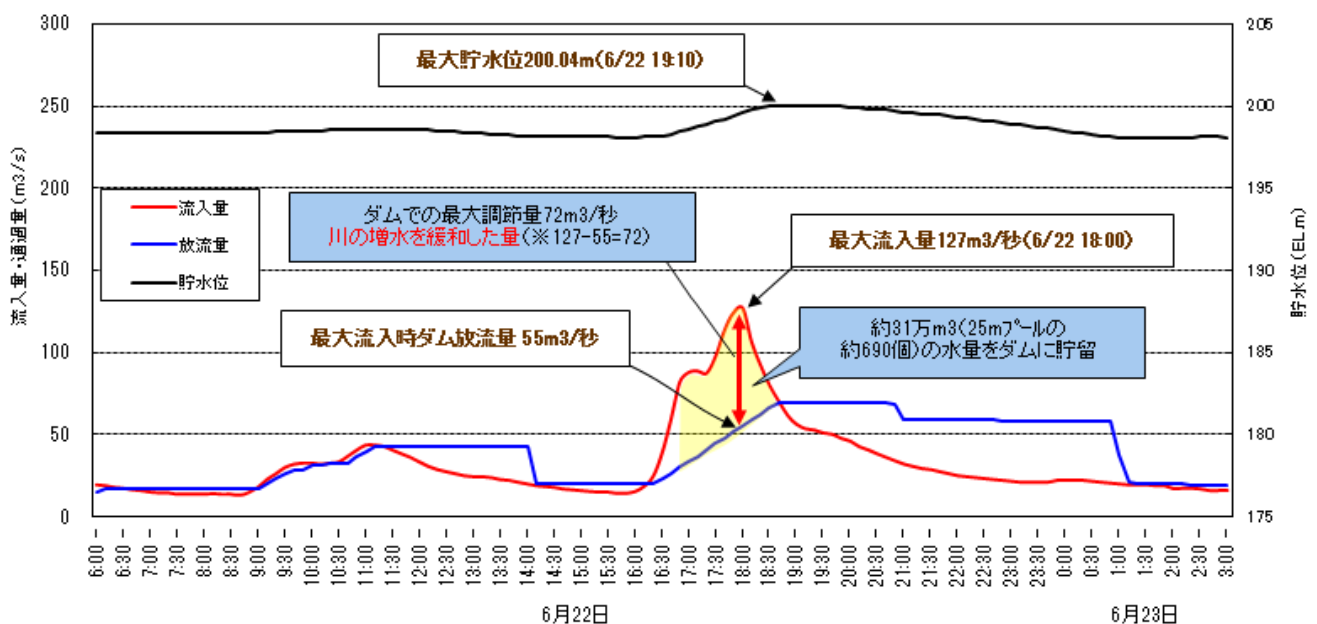
洪水調節により、ダム下流の中島橋水位観測所では最高水位を約0.4m低減させ、氾濫危険水位以下の水位に抑えました。

【巖木ダムの操作状況】※速報値のため各数値は変わる場合があります

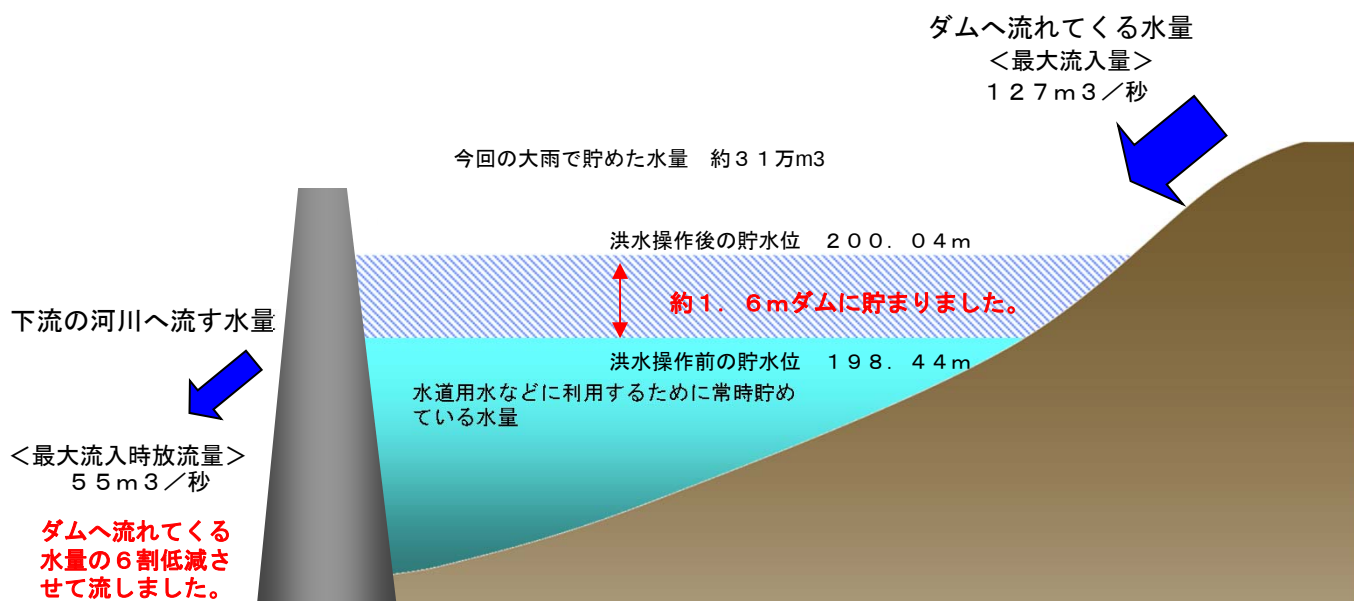
■降雨量（ダム上流流域平均）



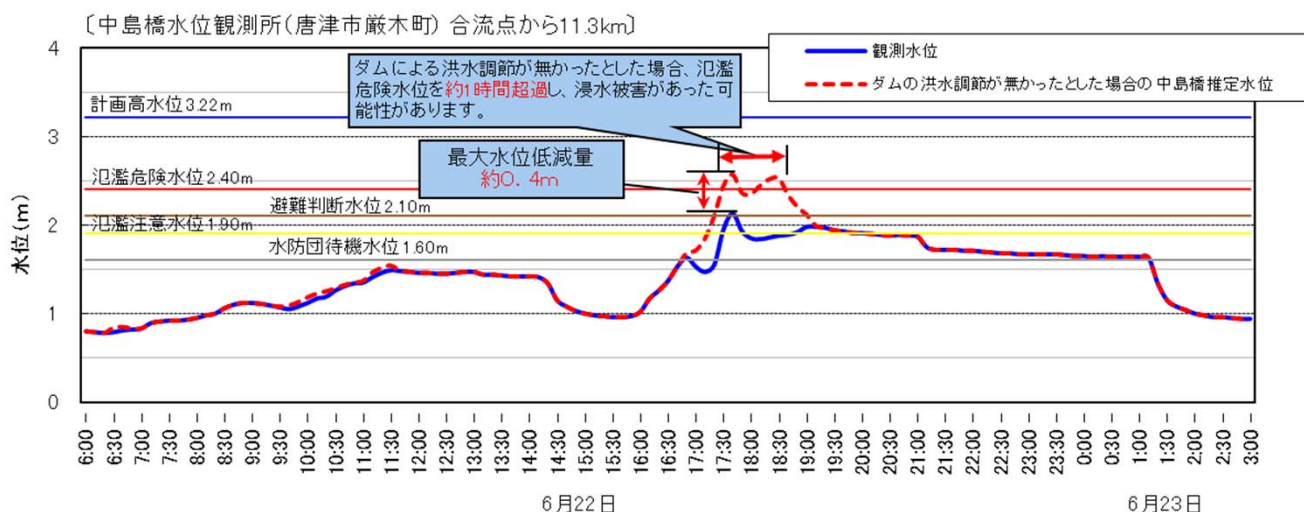
■巖木ダムの諸量



【①厳木ダムの洪水操作概要図】



■河川の水位状況〔中島橋水位観測所（唐津市厳木町）〕



【②厳木ダムの洪水操作状況】

ダム上流からの流れ込み状況

平水時の状況

(ダムへの流入量 0.5 m³/秒)



22日10時50分の状況

(ダムへの流入量 40 m³/秒)



ダムからの放流状況

ダムからの放流 22日10時10分 (放流量 31 m³/秒)



唐津市厳木町の中島橋水位観測所の状況 (写真は22日11:30)



厳木ダムの洪水操作により、河川の水量を調節したことによって、厳木川の中島橋水位観測所地点で約0.4 m河川の水位を低減させたと推測しています。